

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;"><b>薬理学 A</b></p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">薬学部薬学科 2 年生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">小山 豊 綿野智一</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">神経系、循環器系および呼吸器系に作用する薬物</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>2 年次前期の「基礎薬理学」では、体内に入った薬物の運命とその作用発現までの機構について、薬物一般に共通する性質を総論しました。薬理系科目では以降、個々の薬物の性質について学習して行きます。2 年次後期に開講する「薬理学 A」では、「神経系、循環器系、呼吸器系に作用する薬物の作用点、薬理作用、臨床応用などに関する基本的な知識を習得する」ことを、学習の一般目標として授業を進めます。</p> <p style="text-align: center;">(日本薬学会モデルコアカリキュラム C13(2)「薬の効き方 I」および A(2)「医療の担い手としてのこころ構え」(の一部に対応))</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業への出席数、および期末時に課す試験の成績を評価の対象とします。また随時小テストを行い、各受講生の目標への到達度をフィードバックして行く予定です。</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">薬理学 - 医薬品の作用 -</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">竹内 幸一 福井 裕行 栗原 順一 編</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">廣川書店</p>
<p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンダード薬学シリーズ6 「薬と疾病 I」</li> <li>・New 薬理学</li> </ul>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">日本薬学会 編 田中千賀子、加藤隆一</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">東京化学同人 南江堂</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>以下に示す薬物の基本項目に関する知識の修得を、各回の授業での到達目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医薬品の使用に関する事故回避における、薬剤師の重要性を認識する。 交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>2. 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>3. 神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 運動神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>4. 知覚神経に作用する代表的な薬物（局所麻酔薬など）を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>5. 代表的な全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>6. 代表的な催眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>7. 代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>8. 代表的な中枢神経疾患（てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など）の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>9. 代表的な精神疾患（統合失調症、うつ病など）の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>10. 代表的な抗不整脈薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>11. 代表的な心不全治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>12. 代表的な虚血性心疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>13. 代表的な高血圧治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> </ol>		

14. 代表的な呼吸興奮薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。

15. 代表的な鎮咳・去痰薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。

代表的な気管支喘息治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。